



## 2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年1月31日

上場会社名 DM三井製糖ホールディングス株式会社 上場取引所 東  
コード番号 2109 URL <https://www.msdm-hd.com/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森本 卓  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 森 雅彦 TEL 03(6453)6161  
四半期報告書提出予定日 2024年2月7日 配当支払開始予定日 ー  
四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	129,398	4.6	2,430	95.4	7,369	704.5	6,502	—
2023年3月期第3四半期	123,763	10.2	1,243	△67.0	916	△74.9	△269	—

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 7,910百万円 (222.9%) 2023年3月期第3四半期 2,450百万円 (△35.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	201.50	—
2023年3月期第3四半期	△8.36	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	196,431	115,698	56.1	3,415.05
2023年3月期	196,123	112,578	54.6	3,321.09

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 110,207百万円 2023年3月期 107,176百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭		円 銭
2023年3月期	—	30.00	—	90.00	120.00
2024年3月期	—	60.00	—		
2024年3月期（予想）				60.00	120.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	173,300	6.1	5,000	354.5	10,000	△47.5	7,500	△5.2	232.40

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	32,639,780株	2023年3月期	32,639,780株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	368,582株	2023年3月期	368,384株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	32,271,288株	2023年3月期3Q	32,270,743株

（注）当社は、取締役に対し、信託を用いた株式報酬制度を導入しており、期末自己株式数には、当該信託口が保有する当社株式（2023年3月期3Q152,400株、2024年3月期3Q152,400株）を自己株式に含めて記載しております。また、当該信託口が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めて記載しております（2023年3月期3Q153,266株、2024年3月期3Q152,400株）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	10
(重要な後発事象)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、インバウンド需要増などによる景気の回復基調が見られる一方、地政学的リスクへの警戒感を背景とする不安定な国際情勢を受け、原材料価格の高騰や円安の進行を主要因とする物価高が継続し、先行き不透明感が拭えない状況が続いております。このような状況下、当社グループは、「中期経営計画-2026 Diversify into Nutrition & Health」の達成に向け、グループ全体の成長戦略「グループビジネスモデルの変革」と「経営資源の再配分」のもと、グループ内事業の最適化を図ることで、①国内砂糖事業の強靱化、②海外事業の拡大、③ライフ・エナジー事業の成長、④グループの持つ研究開発力の集積・強化及び⑤持続可能な社会実現への貢献を推進してまいりました。

#### (砂糖事業)

海外粗糖相場は、1ポンド当たり22セント前半から始まり、サトウキビの最大生産国であるブラジルにおける気象不安を受けた大幅な減産見通し報道などにより急騰し、4月下旬に27セント半ばの高値圏に達しました。ブラジルの供給量回復による安堵感から一旦は下落傾向に転じたものの、8月下旬に、干ばつの影響を受けたサトウキビ主要生産国であるインドの次年度に係る砂糖輸出禁止見通しや、タイの減産報道などがあったことから再度上昇し、28セント台に到達いたしました。その後、11月下旬にブラジルの産糖量が大幅に上方修正されたことにより、一気に20セント台にまで急落し、20セント半ばで当第3四半期連結累計期間末を迎えました。また、国内市中相場は、1キログラム当たり227円～229円で始まり、海外粗糖相場の高止まりや円安などの影響により、239円～241円となりました。

国内の精製糖販売は、食品値上げラッシュによる消費者マインドの冷え込みが見られたものの、インバウンド需要の回復や、今夏の記録的な猛暑、その後の暖秋による飲料・冷菓等の夏物商品の販売持続などを受け、売上高は前年同期を上回る実績となりました。一方、利益面では、原料費、海上運賃、包装資材及び物流費などのコスト増が多大な影響をもたらしており、これらのコストを吸収するため、7月に1キログラム当たり12円、10月に同10円の出荷価格引き上げを実施いたしました。

国内の原料糖販売は、北海道の連結子会社が増益であったものの、沖縄の連結子会社における悪天候に起因した生産量減や、修繕費増による原価率の悪化などが利益面に影響を与えました。

海外では、シンガポールの連結子会社において、販売量減による原価率の悪化などを受け減益となりました。

以上の結果、砂糖事業は、売上高107,230百万円（前年同期比1.7%増）、営業利益1,260百万円（前年同期比196.5%増）となりました。

#### 期中の砂糖市況

海外粗糖相場（ニューヨーク砂糖当限、1ポンド当たり）

始値 22.35セント 高値 28.14セント 安値 20.03セント 終値 20.58セント

国内市中相場（日本経済新聞掲載、東京上白大袋1キログラム当たり）

始値 227円～229円 終値 239円～241円

#### (ライフ・エナジー事業)

バラチノースは海外向け販売が伸長し、バラチニットはキャンディ用途での需要が堅調に推移いたしました。さとうきび抽出物の販売は、国内向けの食品用途で好調を維持し、環境消臭用途で前年同期を上回りました。また、前連結会計年度において、テルモ(株)より事業譲受した栄養食品及び関連製品の販売に係る増益なども業績に寄与いたしました。なお、第2四半期連結会計期間において、DM三井製糖(株)が、ライフスタイルサポート事業及び宅配弁当事業を展開する(株)Muscle Deli（以下「マッスルデリ」という。）の株式を取得し、同社を連結子会社といたしました。当社グループの素材・研究開発力と、マッスルデリが有するスタートアップ企業としてのスピード感・マーケティング力を掛け合わせることで、ライフ・エナジー事業のバリューチェーン強化を図ってまいります。なお、マッスルデリは、2023年12月18日付で(株)YOUR MEALに商号変更しております。

以上の結果、ライフ・エナジー事業は、売上高20,374百万円（前年同期比23.5%増）、営業利益510百万円（前年同期比14.0%増）となりました。

#### (不動産事業)

岡山地区・長田地区の再開発エリアを含む不動産賃貸物件は順調に稼働しており、売上高1,793百万円（前年同期比2.1%減）、営業利益660百万円（前年同期比78.0%増）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は129,398百万円（前年同期比4.6%増）、営業利益は2,430百万円（前年同期比95.4%増）となりました。

営業外損益においては、DM三井製糖㈱が、国内投資先から受けた受取配当金4,457百万円と、フィンゴリモード「FTY720」の開発権及び販売権の許諾に基づく受取ロイヤリティー971百万円を計上いたしました。また、持分法投資損益において、主にタイ国の関連会社における損益改善もあり、経常利益は7,369百万円（前年同期比704.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は6,502百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失269百万円）となりました。

## （2）財政状態に関する説明

### 〔連結財政状態の変動状況〕

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比307百万円増加し196,431百万円となりました。連結貸借対照表の主要項目ごとの主な増減要因等は次の通りであります。

#### ①流動資産

流動資産は、前連結会計年度末比74百万円増加し88,951百万円となりました。これは主として、売掛金の増加3,321百万円、原材料及び貯蔵品の増加2,124百万円、流動資産その他の増加1,141百万円、受取手形の増加123百万円があった一方で、現金及び預金の減少4,478百万円、商品及び製品の減少2,113百万円等があったことによるものであります。

#### ②固定資産

固定資産は、前連結会計年度末比232百万円増加し107,479百万円となりました。これは主として、建設仮勘定の増加1,840百万円、関係会社出資金の増加276百万円があった一方で、投資その他の資産その他の減少725百万円、投資有価証券の減少666百万円、繰延税金資産の減少527百万円等があったことによるものであります。

#### ③負債

負債は、前連結会計年度末比2,812百万円減少し80,732百万円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金の減少1,468百万円、短期借入金の減少1,332百万円等があったことによるものであります。

#### ④純資産

純資産は、前連結会計年度末比3,119百万円増加し115,698百万円となりました。これは主として、親会社株主に帰属する四半期純利益6,502百万円、為替換算調整勘定の増加1,289百万円、剰余金の配当4,863百万円等があったことによるものであります。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、2023年5月15日に公表のものから変更はありません。今後の業績推移等によって、連結業績予想の見直しが必要と判断した場合には、速やかに公表いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	28,002	23,523
受取手形	658	782
売掛金	13,928	17,250
商品及び製品	26,005	23,892
仕掛品	2,572	2,527
原材料及び貯蔵品	11,955	14,080
その他	5,759	6,900
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	88,877	88,951
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	51,692	50,306
減価償却累計額	△33,071	△31,527
建物及び構築物(純額)	18,620	18,778
機械装置及び運搬具	107,474	100,733
減価償却累計額	△92,588	△85,951
機械装置及び運搬具(純額)	14,886	14,782
工具、器具及び備品	4,042	4,136
減価償却累計額	△3,130	△3,242
工具、器具及び備品(純額)	911	894
土地	28,120	28,107
リース資産	2,631	2,774
減価償却累計額	△1,823	△1,678
リース資産(純額)	807	1,095
建設仮勘定	501	2,342
有形固定資産合計	63,848	66,001
無形固定資産		
のれん	5,226	5,119
その他	4,289	4,304
無形固定資産合計	9,515	9,424
投資その他の資産		
投資有価証券	16,022	15,355
関係会社出資金	3,041	3,318
長期貸付金	19	17
退職給付に係る資産	1,415	1,229
繰延税金資産	2,079	1,552
その他	11,349	10,624
貸倒引当金	△46	△44
投資その他の資産合計	33,882	32,053
固定資産合計	107,246	107,479
資産合計	196,123	196,431

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,320	13,852
短期借入金	9,017	7,684
1年内返済予定の長期借入金	2,070	1,568
リース債務	357	318
未払費用	4,364	4,265
未払法人税等	320	329
役員賞与引当金	125	78
資産除去債務	415	276
その他	6,213	7,479
流動負債合計	38,205	35,853
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	16,060	15,071
リース債務	494	809
繰延税金負債	3,361	3,594
役員退職慰労引当金	103	95
役員株式給付引当金	35	48
退職給付に係る負債	3,589	3,495
資産除去債務	329	328
その他	1,365	1,436
固定負債合計	45,340	44,879
負債合計	83,545	80,732
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,083	7,083
資本剰余金	8,540	8,583
利益剰余金	89,136	90,776
自己株式	△724	△724
株主資本合計	104,036	105,717
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	846	869
繰延ヘッジ損益	53	179
為替換算調整勘定	2,025	3,314
退職給付に係る調整累計額	213	126
その他の包括利益累計額合計	3,139	4,489
非支配株主持分	5,402	5,491
純資産合計	112,578	115,698
負債純資産合計	196,123	196,431

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	123,763	129,398
売上原価	103,824	107,740
売上総利益	19,939	21,658
販売費及び一般管理費		
配送費	5,604	5,566
給料及び賞与	4,318	4,294
役員賞与引当金繰入額	48	63
退職給付費用	158	154
株式報酬費用	10	12
その他	8,554	9,135
販売費及び一般管理費合計	18,695	19,227
営業利益	1,243	2,430
営業外収益		
受取利息	2	3
受取配当金	104	4,601
受取ロイヤリティー	321	973
雑収入	271	256
営業外収益合計	700	5,835
営業外費用		
支払利息	134	233
社債発行費	43	—
固定資産除却損	9	25
設備撤去費	82	69
持分法による投資損失	629	443
雑損失	129	123
営業外費用合計	1,028	896
経常利益	916	7,369
特別利益		
投資有価証券売却益	271	948
固定資産処分益	353	—
補助金収入	412	26
違約金収入	46	—
特別利益合計	1,084	975
特別損失		
固定資産圧縮損	392	21
減損損失	472	—
特別損失合計	864	21
税金等調整前四半期純利益	1,135	8,323
法人税、住民税及び事業税	1,331	1,302
法人税等調整額	178	714
法人税等合計	1,509	2,017
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△374	6,305
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△104	△196
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△269	6,502



(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△374	6,305
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	41	18
繰延ヘッジ損益	△79	184
為替換算調整勘定	2,314	1,134
退職給付に係る調整額	△60	△88
持分法適用会社に対する持分相当額	607	356
その他の包括利益合計	2,824	1,605
四半期包括利益	2,450	7,910
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,144	7,852
非支配株主に係る四半期包括利益	305	58

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(取締役に対する業績連動型株式報酬制度)

当社は2021年5月20日開催の取締役会決議に基づき、当社の取締役（監査等委員である取締役及び社外取締役を除きます。）に対して、中長期的な業績の向上と企業価値の増大に貢献する意識を高めることを目的として、株式報酬制度を導入しております。

1. 取引の概要

当社が設定する信託（以下、「本信託」といいます。）に金銭を信託し、本信託において当社普通株式（以下、「当社株式」といいます。）の取得を行い、取締役に対して、当社取締役会が定める株式交付規程に従って付与されるポイント数に応じ、当社株式が本信託を通じて交付される株式報酬制度です。なお、取締役が当該株式の交付を受ける時期は、原則として取締役の退任時となります。

2. 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額（付帯する費用の金額を除きます。）により、純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度296百万円、152,400株、当第3四半期連結会計期間296百万円、152,400株であります。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	砂糖事業	ライフ・ エナジー 事業	不動産事業	合計		
売上高						
顧客との契約から 生じる収益	105,428	16,503	—	121,931	—	121,931
その他の収益	—	—	1,832	1,832	—	1,832
外部顧客への売上高	105,428	16,503	1,832	123,763	—	123,763
セグメント間の内部 売上高又は振替高	54	112	418	585	△585	—
計	105,482	16,615	2,250	124,348	△585	123,763
セグメント利益	425	447	371	1,243	—	1,243

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「砂糖事業」セグメントにおいて、連結子会社である北海道糖業㈱において同社の本別製糖所の固定資産について、資産の遊休化により投資額の回収が見込めなくなったため、固定資産の減損損失を認識しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては472百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

テルモ㈱の栄養食品及び関連製品に関する資産を譲受けたことに伴い、のれん金額に重要な変動が生じております。当該事象によるのれん増加額は、当第3四半期連結累計期間において、「ライフ・エナジー事業」セグメントにおいて1,836百万円であります。

なお、当該のれん金額は、取得原価の配分が完了していないため、入手可能な合理的情報に基づき、暫定的に算出された金額であります。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	砂糖事業	ライフ・ エナジー 事業	不動産事業	合計		
売上高						
顧客との契約から 生じる収益	107,230	20,374	—	127,605	—	127,605
その他の収益	—	—	1,793	1,793	—	1,793
外部顧客への売上高	107,230	20,374	1,793	129,398	—	129,398
セグメント間の内部 売上高又は振替高	71	113	604	789	△789	—
計	107,301	20,488	2,398	130,188	△789	129,398
セグメント利益	1,260	510	660	2,430	—	2,430

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載の通りであります。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。